

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
I-1-(2)- ⑤ 子どもの 特性を伸 ばす教育 の充実	1	④	④ ⑪	博物館セカンドス クール事業	自然 史・ 歴史 博物館 普及課	博物館を第二の学校と 位置づけ、修学旅行・社 会見学など学校教育の一 環として、子どもたちの 博物館利用の促進を図る ものである。	学校団体誘致数	目標	1,200 団体	1,000 団体	1,000 団体	1,000団体 以上 （毎年度）	継続	1,487	1,339	減額	16,075	課長	0.05 人	順調	積極的な誘致活動を実施した 結果、来館した学校団体数・入 館者数ともに目標に近づける ことができた。今後も来館実績を もとにした誘致活動とともに、 新規団体の誘致も積極的に実施 し、子どもたちの来館機会を創 出し来館者増を目指す。	順調	博物館は、誘致活動の強化を 行い、子どもの来館機会を創出 することで、子どもの知的好み 心や学習意欲を喚起し、学校教 育の充実に寄与する。 文学館については引き続き展 示や企画展などの充実、周辺施 設との連携などにより、来館者 やリピーターの増加を図る。
								実績	1,043 団体														
I-1-(2)- ⑤ 子どもの 特性を伸 ばす教育 の充実	2	④	④ ⑪	文学館普及研究費	文学 館	北九州市ゆかりの文学 者の業績を企画展等で紹 介するとともに、本市の 文芸の振興に功績のあつ た文学者を市内外に発信 する。	入館者数 ※中期目標改訂	目標	22,000 人	7,500 人	30,000 人	30,000人 （R2年度）	拡大	17,132	26,821	増額	30,950	課長	0.30 人	順調	リニューアルした常設展示や より多くの市民が興味を持つ企 画展の開催などにより、若年層 など入館者の増加を図り、市民 と文学との接点を提供してい く。 【中期目標の変更内容】 展示リニューアルにより、入 館者数の増加を図るため、7,500 人（R1年度）から30,000人（R2年 度）に変更した。	順調	リニューアルした常設展示や より多くの市民が興味を持つ企 画展の開催などにより、若年層 など入館者の増加を図り、市民 と文学との接点を提供してい く。 【中期目標の変更内容】 展示リニューアルにより、入 館者数の増加を図るため、7,500 人（R1年度）から30,000人（R2年 度）に変更した。
								実績	21,711 人														
I-1-(3)- ② 家庭教育 支援の充 実	3	④	③ ④ ⑪ ⑰	家庭・地域・学校 パートナーシップ 事業	生涯 学習 課	家庭教育学級や子育て サポーターなどの活動を 通じて、保護者の不安を 軽減するため、関係機関 や関係部局と連携なが ら、情報提供、啓発活動 を行い、保護者が家庭教 育について学ぶ機会 の充実、子どもの基本的 生活習慣定着への理解を 促すための情報提供、 啓発活動を進める。	朝食を毎日「食べて いる」「どちらかとい えば食べている」と回 答した児童生徒の割 合	目標	小:100% 中:100%			小:100% 中:100% （H30年度）	継続	6,282	5,925	減額	9,150	課長	0.10 人	順調	核家族化や共働き世帯の増 加、地域のつながりなど、子ど もや家庭を取り巻く環境が大き く変化しているため、家庭教 育学級を継続・充実していくと ともに、課題である参加できな い保護者への取り組みとして「 親力アップ情報発信事業」を 実施し、いつでも家庭教育に役 立つ情報が得られるよう、子 育て支援につながる情報の 発信を行う。	順調	既存の家庭教育学級・子育て サポーターの育成については 継続・充実を図り、課題である 参加できない保護者への取 組みとして「親力アップ情報 発信事業」を実施し、いつ でも家庭教育に役立つ情 報が得られるよう、子育て 支援につながる情報の 発信を行う。
								実績	小:93.0% 中:91.9% （H25年度）														
I-1-(3)- ② 家庭教育 支援の充 実	3	④	③ ④ ⑪ ⑰	家庭・地域・学校 パートナーシップ 事業	生涯 学習 課	家庭教育学級や子育て サポーターなどの活動を 通じて、保護者の不安を 軽減するため、関係機関 や関係部局と連携なが ら、情報提供、啓発活動 を行い、保護者が家庭教 育について学ぶ機会 の充実、子どもの基本的 生活習慣定着への理解を 促すための情報提供、 啓発活動を進める。	家庭教育学級長向け アンケート満足度	目標		65 %	85 %	85% （R2年度）	継続	6,282	5,925	減額	9,150	課長	0.10 人	順調	核家族化や共働き世帯の増 加、地域のつながりなど、子ど もや家庭を取り巻く環境が大き く変化しているため、家庭教 育学級を継続・充実していくと ともに、課題である参加できな い保護者への取り組みとして「 親力アップ情報発信事業」を 実施し、いつでも家庭教育に役 立つ情報が得られるよう、子 育て支援につながる情報の 発信を行う。	順調	既存の家庭教育学級・子育て サポーターの育成については 継続・充実を図り、課題である 参加できない保護者への取 組みとして「親力アップ情報 発信事業」を実施し、いつ でも家庭教育に役立つ情 報が得られるよう、子育て 支援につながる情報の 発信を行う。
								実績	—														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs 主要なゴール番号	基本計画の施策を構成する 主要な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
I-1-(3)- ③ 地域全体が教育を支える社会の実現	4	④	③ ④ ⑪ ⑰	家庭・地域・学校 パートナーシップ 事業	生涯 学習 課	家庭教育学級や子育て サポーターなどの活動を通じて、保護者の不安を軽減するため、関係機関や関係部局と連携しながら、情報提供、啓発活動を行い、保護者が家庭教育について学ぶ機会の充実、子どもの基本的な生活習慣定着への理解を促すための情報提供、啓発活動を進める。 朝食を毎日「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合	小:93.0% 中:91.9% (H25年度)	小:100% 中:100%				小:100% 中:100% (H30年度)	継続	6,282	5,925	減額	9,150	課長	0.10	人	順調	核家族化や共働き世帯の増加、地域のつながりなど、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化しているため、今後市民センターが核となって、家庭・学校・地域が連携する仕組みを構築し、家庭教育支援を充実させる。	子どもや家庭を取り巻く環境の変化に対応し、地域から子育て世帯へ歩み寄る姿勢を示すことで、子育て家庭が抱える悩みや問題を解消できるきっかけを提供していく。
						家庭教育学級長向け アンケート満足度	—		65 %	85 %	85% (R2年度)	職員											
I-3-(1)- ① 多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供	5	④	③ ④ ⑪ ⑰	生涯学習活動促進 事業	生涯 学習 課	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	93,589人 (H25年度)	目標 100,000 人 実績 127,391 人 達成率 127.4 %	110,000 人	110,000 人	110,000 人	継続	13,627	13,574	維持	6,900	課長	0.10	人	順調	生涯学習市民講座が、地域の課題解決や地域活動に参画する人材を育成する講座となるよう、企画する市民センター館長の研修の充実を図る。	より地域の状況に応じた、地域の課題解決につながるような講座を提供できるよう、市民センター館長研修の充実を含め、工夫していく。 また、館長研修や各区の社会教育主事・主事補を通じて、生涯学習推進コーディネーターの配置の意義・効果を啓蒙するとともに、具体的な人材のを見つけ方などを指導し、生涯学習推進コーディネーターの全館配置に向け取り組んでいく。	
						生涯学習活動に関する満足度	96.3% (H25年度)	目標 90 % 実績 93 % 達成率 103.3 %	90 %	90 %	90 %												90%以上 (R2年度)
I-3-(1)- ① 多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供	6	④	④ ⑪ ⑰	生涯学習推進コーディネーター配置 事業	生涯 学習 課	多様化・高度化する市民の学習要求に応え、生涯学習事業の充実及び学習の促進を目的に、全市民センター及び生涯学習総合センターに生涯学習推進コーディネーターを配置する。	56.2% (H25年度)	目標 75 % 実績 51.5 % 達成率 68.7 %	80 %	85 %	85 %	継続	9,133	7,316	減額	3,650	課長	0.10	人	順調	生涯学習推進コーディネーターの配置については、館長研修や各区の社会教育主事・主事補を通じて配置の意義・効果に加え人材のを見つけ方などを周知し、全館配置に向け取り組む。また、生涯学習推進コーディネーターを地域の学びと活動をつなぐ人材に育成するための研修を行う。		
						生涯学習推進コーディネーターの配置割合																	職員

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
I-3-(2)- ① 地域活動をリードする人材の育成	7	④	④ ⑪ ⑰	北九州市民カレッジ事業	管理運営課	市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進および「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成を図る。 北九州市民カレッジの講座は、生涯学習総合センター主催コース(まちづくり・人材育成系、総合・教養系の2コース)と高等教育機関提携コースを前期・後期の2期で実施。	受講者数	1,435人 (H28年度)	目標 1,440人 実績 1,682人 達成率 116.8%	1,470人 1,500人	1,500人 (R2年度)	継続	5,374	5,119	維持	20,700	課長 0.30人 係長 0.90人 職員 1.10人	順調	厳しい予算状況の中、講座内容の質を確保し、多様化する学習ニーズや課題の把握に努める。また、高等教育機関等との連携をさらに進めていく。	順調			
	8	④	③ ④ ⑪ ⑰	生涯学習活動促進事業	生涯学習課	生涯学習市民講座参加者数	93,589人 (H25年度)	目標 100,000人 実績 127,391人 達成率 127.4%	110,000人 110,000人	110,000人 (R2年度)	継続	13,627	13,574	維持	6,900	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.50人	順調	生涯学習市民講座が、地域の課題解決や地域活動に参画する人材を育成する講座となるよう、企画する市民センター館長の研修の充実を図る。	順調	市民の多様な学習ニーズに対応したカリキュラムを構築するとともに、地域課題への解決策となるような講座を増やしていくことで、地域に根付いた継続的な人材づくりの機会を提供していく。			
						生涯学習活動に関する満足度	96.3% (H25年度)	目標 90% 実績 93% 達成率 103.3%	90% 90% 90%	90%以上 (R2年度)													
9	④	④ ⑪ ⑰	地域課題解決のための人材活用支援事業	生涯学習課	地域が主体的に地域課題を解決することができるよう、地域人材の発掘～育成～活動までを体系的に支援し、地域力アップにつながる仕組みをつくる。学んだ成果を地域に活かす講座の開催、地域活動をリードする人材育成事業(市民センター館長等研修など)及び多様な機関との連携強化を実施する。	「地域活動をリードする人材やボランティア活動に取組む人材が増加していると感じる」に肯定的な回答をした割合	37.6% (H27年度)	目標 56% 実績 32.1% 達成率 57.3%	58% 60%	60%以上 (R2年度)	継続	670	901	その他	5,400	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.30人	順調	予算事業を統合し、地域課題の解決に向け、学びと活動の循環する仕組みづくり、研修等での人材育成、多様な機関との連携をより効率的・効果的に事業を実施する。	順調				
I-3-(2)- ② 地域を支えるボランティアの育成	10	④	④ ⑪	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	新規設立NPO法人数(累計)	88法人 (H29年度)	目標 105法人 実績 99法人 達成率 94.3%	120法人 135法人	135法人 (R2年度)	継続	20,750	20,176	維持	19,725	課長 0.15人 係長 0.30人 職員 2.00人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等を引き続き開催するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。			
						サポートセンター利用者数	24,338人 (H29年度)	目標 25,000人 実績 28,683人 達成率 114.7%	25,000人 25,000人	25,000人 (毎年度)													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）			
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数		
II-1-(1)- ② 市民の消費生活の 安定と向上	11	④	④	消費者啓発の推進	消費生活センター	悪質化・巧妙化する消費者被害を未然に防止するため、法律相談会や消費者啓発・教育講座等、消費者自身が危機回避や被害にあった場合の適切な対処法を身に付けるための各種事業を実施するなど、啓発の推進や支援を行う。	消費生活センターの認知度	92% (H23年度)	目標 90 %	実績 92.9 %	90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)	継続	17,130	15,520	減額	8,075	課長	0.05	順調	今後も効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知に加え、成年年齢下げに伴う若年層や認知症等高齢者を支える人々への啓発も強化し、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。	順調	今後も引き続き効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知に加え、成年年齢下げに伴う若年層や認知症等高齢者を支える人々への啓発も強化し、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。
							消費生活センター等に相談又は相談を勧める市民の割合	91.5% (H26年度)	目標 90 %	実績 95.1 %	90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)						係長	0.30				
II-1-(3)- ① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に関わる施策の推進	12	⑪	⑪	日本トップクラスの安全・安心なまちづくり関連事業	安全・安心推進課	警察、関係団体等と連携し、市民等の防犯意識の向上や自主防犯活動の活発化、安全・安心な環境の整備などに取り組み、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進する。	防犯パトロール活動への参加者数	14,170人 (H27年度)	目標 18,000 人	実績 27,875 人	20,000 人	北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定	北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定	継続	9,527	7,339	減額	15,900	課長	0.10	大変順調	引き続き、地域の自主防犯活動を支援していくほか、通勤や買い物等の外出時に、防犯の視点でまちを見て、不審者や危険な場所を発見したら、警察へや市へ連絡する「ながら見守り」や、小学校の登下校の時間帯に、自宅や事務所の窓から子ども達を見守る「窓から見守り」を推奨することで、地域の見守りの目を増やし、犯罪の抑止力を高めていく。 また、繁華街のにぎわいづくりをはじめ、本市の治安改善の現状など、市民や首都圏に向けたPR活動を行うことで、市全体のイメージの向上を図る。 【中期目標の変更内容】 北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）によって決定。	順調	市民の体感治安の向上を図るため、引き続き安全・安心に関する活動の推進を図るほか、効果的・効率的に安全・安心なまちづくりに向けた情報や取組を市内外に発信していく。 また、安全・安心総合相談ダイヤル事業は、市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受け、市民の相談機会の充実と不安感解消を図るものであるため、継続して事業を実施していく。 また、安全・安心総合相談ダイヤル事業は、市民が気軽に相談できる体制を引き続き整える。	
							市民が感じる治安状況（体感治安）	73.7% (H27年度)	目標 前年度 (79.0%) 比増	実績 85.2 %	前年度比 増	北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定	北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定						係長	0.35					職員
	13	⑪	⑪	子どもと女性の犯罪被害防止対策事業	安全・安心推進課	子どもや女性の犯罪被害を防止するため、子ども自身や子どもを見守る保護者、女性を対象とした安全セミナー等を開催し、防犯意識や知識の向上を図る。	「安全セミナー」「地域安全マップづくり」延べ実施校	35校 (H25年度)	目標 105 校	実績 118 校	125 校	155 校	155校 (R2年度)	継続	4,023	3,087	減額	15,900	課長	0.10	順調	引き続き、「地域安全マップづくり」を市内7校で実施し、児童の防犯知識の向上を図るとともに、年1校程度、マップづくりで危険と判断された場所（落書き等）を地域住民や学校等と連携して改善することで、防犯意識の醸成を図る。 また、防犯の専門家による防犯セミナーを「子ども」、「保護者・教員」、「女性」を対象に開催し、各々の防犯意識等の向上を図る。 【中期目標の変更内容】 平成30年度実施校に基づき、125校(R1年度)から155校(R2年度)に変更した。	順調		
							性犯罪認知件数	104件 (H25年)	目標 前年件数 (75件) 減	実績 82 件	前年件数 減	前年件数 減	前年件数 減						件数減 (毎年)	係長					0.35
	14	⑪	⑪	安全・安心総合相談ダイヤル事業	安全・安心相談センター	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受け「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。	安全・安心総合相談ダイヤルの認知度	22% (H27年度)	目標 前年度 (28.8%) 比増	実績 27.7 %	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年度)	継続	18,855	18,838	維持	15,900	課長	0.10	順調	市民が気軽に相談できる体制を引き続き整える。			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 番号	SDGs サブ 番号	基本計画の施策を構成する 主要事業 名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
						指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位					人数	
II-1-(3)- ② 防犯活動 の強化	15	⑪	⑤ ⑪	地域防犯対策事業	安全・ 安心 推進 課	北九州市安全・安心条 例では、「市民等は安 全・安心に関する意識を 自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相 互に連携を深め、防犯活 動を協力して推進するこ と」と定められている。 この事業では、市民の防 犯意識を高め、地域住民 の自主防犯活動を促進 し、安全・安心を実感で きるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	目標	前年 (3,467件) 比減	前年比減	前年比減	前年比 減	継続	28,725	28,749	維持	15,900	課長	0.10	人	順調	生活安全パトロール隊の多く が結成から10年を経過して おり、メンバーの高齢化・固 定化が進んでいることから、 パトランキタキュー等の防 犯活動団体と連携を促進す ることによって、地域の犯 罪抑止力の強化を図る。 【中期目標の変更内容】 北九州市安全・安心条例行 動計画（第2次）によって 決定。	
								実績	2,727 件														北九州市安 全・安心条 例行動計画 (第2次) にて決定
								達成率	121.3 %														
16	⑫	⑫	防犯灯設置事業	安全・ 安心 都市 整備 課	夜間における犯罪の発 生を未然に防止し、公衆 の通行の安全を図るため 地域と市が協力しながら 、防犯灯を設置。 防犯灯の設置にあたって は、LED防犯灯の設置 促進を図り、町内会等の 地域の防犯灯の設置のた め費用の一部を助成し、 明るく安心して生活でき るまちづくりを推進。	刑法犯認知件数 ※中期目標改訂	目標	前年 (7,570件) 比減	8,000 件	北九州市安 全・安心条 例行動計画 (第2次) にて決定	北九州市安 全・安心条 例行動計画 (第2次) にて決定	継続	111,629	102,743	減額	3,435	課長	0.04	人	順調	引き続き、防犯灯のLED化を推 進しながら、地域への補助等 を実施する。 【中期目標の変更内容】 北九州市安全・安心条例行 動計画（第2次）によって 決定。		
							実績	6,504 件															
							達成率	114.1 %															
17	⑬	⑬	通学路防犯灯事業	安全・ 安心 都市 整備 課	通学路において、市に よるLED防犯灯の設置を 行い、通学路の夜間の安 全確保に取り組む。	刑法犯認知件数 ※中期目標改訂	目標	前年 (7,570件) 比減	8,000 件	北九州市安 全・安心条 例行動計画 (第2次) にて決定	北九州市安 全・安心条 例行動計画 (第2次) にて決定	継続	9,500	9,500	維持	3,435	課長	0.04	人	順調	引き続き、通学路において増 設が必要な防犯灯は市が整 備する等、通学路の夜間照 明の設置強化を図る。 【中期目標の変更内容】 北九州市安全・安心条例行 動計画（第2次）によって 決定。		
							実績	6,504 件															
							達成率	114.1 %															
17	⑬	⑬	通学路防犯灯事業	安全・ 安心 都市 整備 課	通学路において、市に よるLED防犯灯の設置を 行い、通学路の夜間の安 全確保に取り組む。	市民が感じる治安状 況（体感治安） ※中期目標改訂	目標	前年度 (79.0%) 比増	90 %	北九州市安 全・安心条 例行動計画 (第2次) にて決定	北九州市安 全・安心条 例行動計画 (第2次) にて決定	継続	9,500	9,500	維持	3,435	係長	0.17	人	順調	引き続き、通学路において増 設が必要な防犯灯は市が整 備する等、通学路の夜間照 明の設置強化を図る。 【中期目標の変更内容】 北九州市安全・安心条例行 動計画（第2次）によって 決定。		
							実績	85.2 %															
							達成率	107.8 %															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 目標 番号	SDGs サブ 目標 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
18	⑬	⑬	⑬	防犯カメラ事業	安全・ 安心市 整備課	暴力団犯罪をはじめ街頭犯罪を抑制し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人が多く集まる繁華街や幹線道路に既に設置している防犯カメラの適正な維持管理を行う。 更に、近年開発が進む駅周辺などに新たに防犯カメラを設置し、適切な維持管理を行う。	市民が感じる治安状況（体感治安） ※中期目標改訂	目標	前年度 (79.0%) 比増	90 %		北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定	拡大	45,098	46,611	維持	3,435	課長	0.04	順調	近年開発が進む駅周辺などに新たに防犯カメラを設置するとともに、既設置の防犯カメラの保守・点検を適切に行うことにより、安定した運用を行う。 【中期目標の変更内容】 北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）によって決定。	
								実績	85.2 %			北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定						係長	0.17			人
								達成率	107.8 %													
								目標	前年 (7,570件) 比減	8,000 件		北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定						職員	0.17			人
								実績	6,504 件													
								達成率	114.1 %													
19	⑬	⑬	⑬	防犯カメラ設置補助事業	安全・ 安心市 整備課	安全・安心条例の施行を機に、地域団体や事業者が犯罪抑止を目的として公共空間を撮影する防犯カメラを設置する際の経費の一部を補助することで、安全・安心な環境の構築に向けたさらなる取り組みを推進する。	刑法犯認知件数 ※中期目標改訂	目標	前年 (7,570件) 比減	8,000 件		北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定	継続	13,800	12,650	減額	3,435	課長	0.04	順調	防犯カメラ設置補助制度を継続するにあたり、申請実績に応じた予算を確保し、地域の防犯活動の十分な支援を行う。 【中期目標の変更内容】 北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）によって決定。	
								実績	6,504 件			北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定						係長	0.17			人
								達成率	114.1 %													
								目標	前年度 (79.0%) 比増	90 %		北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定						職員	0.17			人
								実績	85.2 %													
								達成率	107.8 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
II-1-(3)- ③ 暴力団追 放運動の 推進	20	⑪	⑪	暴力追放の推進	安全・ 安心相 談セン ター	社会全体で暴力団を排 除する取り組みを推進す るため、事業者・市民の 暴排意識を高める市民暴 力追放総決起大会や暴力 追放強調月間による集中 的啓発活動などを実施 し、官民一体となって取 り組む。	暴追対策に対して評 価した市民の割合	目標	前年度 (71.9%) 比増	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年度)	継続	12,220	12,599	維持	12,850	課長	0.40	人	順調	警察・行政・市民とが連携・ 協力し、安全・安心なまちづく りを促進する環境を整えると ともに、暴力追放に対する市民意 識の高揚を図る。また、市民の 不安感の払拭に向けて、警察な どの関係機関と連携した暴追活 動を引き続き行う。 【中期目標の変更内容】 令和元年度の実績に基づき、 中期目標を決定するため、時点 更新を行い、目標を前々年度比 増（R1年度）から変更した。	順調	警察や市民との連携した安全 で安心なまちづくりを促進す るとともに、市民意識の高揚を 図る。また、市民が気軽に相談 できる体制を整える。
								実績	79 %									職員	0.70	人				
								達成率	109.9 %															
							企業における暴力団 排除条項の規定割合 ※中期目標改訂	55.8% (H25年 度)	目標	単年度目標 設定なし	80%以上	単年度目標 設定なし	R1年度比 増 (R3年度)				係長	0.30	人					
II-1-(3)- ③ 暴力団追 放運動の 推進	21	⑪	⑪	民事介入暴力相談 事業	安全・ 安心相 談セン ター	市民生活への暴力団等 の介入を排除し、安全・ 安心なまちづくりを図る ため、民事介入暴力相談 を実施。	暴追対策に対して評 価した市民の割合	目標	前年度 (71.9%) 比増	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年度)	継続	21,394	16,365	減額	4,300	課長	0.20	人	順調	相談体制を見直し、より効 率的で効果的な運用を図る。 【中期目標の変更内容】 令和元年度の実績に基づき、 中期目標を決定するため、時点 更新を行い、目標を前々年度比 増（R1年度）から変更した。	順調	警察や市民との連携した安全 で安心なまちづくりを促進す るとともに、市民意識の高揚を 図る。また、市民が気軽に相談 できる体制を整える。
								実績	79 %									職員	0.00	人				
								達成率	109.9 %															
							企業における暴力団 排除条項の規定割合 ※中期目標改訂	55.8% (H25年 度)	目標	単年度目標 設定なし	80%以上	単年度目標 設定なし	R1年度比 増 (R3年度)											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
II-1-(3)- ④ 交通安全の推進	22	③	③	交通安全推進事業	安全・ 安心都市 整備課	第9次北九州市交通安全計画に基づき、重点項目について啓発を実施。生涯にわたる交通安全教育及び効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図るもの。	交通事故の発生件数 （警察統計のため暦年でカウント）	目標	前年 (7,001件) 比減	前年比減	7,300件 以下	7,300件 以下 (R2年)	継続	15,245	15,510	維持	9,800	課長	0.20	順調	引き続き、市民に広く交通安全教育及び効果的な広報啓発活動を行い、交通事故防止を図る。 令和2年度は、既存事業で実施中の高齢者の運転免許証自主返納支援に対する取組を拡充する。	順調	引き続き交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。
								実績	6,649 件										達成率				
23	③	③	③	交通安全センター管理運営	安全・ 安心都市 整備課	北九州市立交通安全センターを管理するとともに、交通安全教室等を開催し、自転車の安全運転や、交通ルール・マナーの徹底を図る。	交通事故の発生件数 （警察統計のため暦年でカウント）	目標	前年 (7,001件) 比減	前年比減	7,300件 以下	7,300件 以下 (R2年)	継続	27,767	27,881	維持	3,650	課長	0.10	順調	交通公園での交通安全指導のほか、出前講座として小学生向け、高齢者向けの交通安全教室を開催しており、今後も交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。	順調	
								実績	6,649 件										達成率				
24	⑪	⑤	⑪	地域防犯対策事業	安全・ 安心推進 課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	目標	前年 (3,467件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減	継続	28,725	28,749	維持	15,900	課長	0.10	順調	生活安全パトロール隊の多くが結成から10年を経過しており、メンバーの高齢化・固定化が進んでいることから、パトランキタキュー等の防犯活動団体と連携を促進することによって、地域の犯罪抑止力の強化を図る。	順調	犯罪認知件数の減少に体感治安が伴うよう、引き続き安全・安心に関する活動の推進を図るとともに、安全・安心に関する情報や取組を効果的に市内外に発信していく。
								実績	2,727 件										達成率				
						市民が感じる治安状況 （体感治安） ※中期目標改訂	目標	前年度 (79.0%) 比増	90 %	北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定	北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）にて決定	継続					職員	1.50	順調	【中期目標の変更内容】 北九州市安全・安心条例行動計画（第2次）によって決定。			
							実績	73.7% (H27年度)	85.2 %								達成率	107.8 %					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位					人数	
II-3-(4)- ① 平和の尊 さへの理 解の促進	25	⑩	⑩	戦時資料展示コー ナー管理運営事業	地域 振興 課	市民からご寄贈いた だいた戦時下の資料を保 管・展示することによ り、北九州市立埋蔵文化 財センター内に開設した 戦時資料展示コーナーに おいて、戦争がもたらした 惨禍と平和の尊さを多く の市民に理解していただ く。	戦時資料展示コー ナー見学者数	3,647人 (H22年 度)	目標 4,000 人	4,000 人	4,000 人	4,000人 (毎年度)	継続	1,329	1,373	維持	1,220	課 長 0.03 人	係 長 0.05 人	職 員 0.05 人	順調	多くの方に来館していただ くため、チラシの配布を進め、広 報の強化に努める。	順調	戦争がもたらした惨禍と平和 の尊さを多くの市民に理解して もらうため、広報活動を通じ て、戦時資料展示コーナーの周 知に一層力を入れていく。ま た、広報活動を通じて、見学者 数の増加に繋げていく。
III-1-(1)- ④ 市民のモ ラル・マ ナーの向 上	26	⑪	⑪	モラル・マナー アップ関連条例推 進事業	安 全・心 都 市 備 課	条例や基本計画に基づ き下記事業に取り組む。 ・小倉・黒崎地区（迷惑 行為防止重点地区）での 巡視活動（過料の適用） ・地域が実施する迷惑行 為防止活動に対する支援 ・小学生を対象としたモ ラル・マナーアップ教育 ・モラル・マナーアップ に関する広報啓発	迷惑行為防止に係る 地域活動団体の増加	82団体 (H26年 度)	目標 前年度 (94団体) 比増	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年度)	継続	19,509	18,127	減額	6,150	課 長 0.10 人	係 長 0.20 人	職 員 0.40 人	順調	引き続き、条例や基本計画に 基づき、地域活動団体への支援 や啓発活動等を実施し、モラ ル・マナーアップの推進に努め る。 令和2年度はコストダウンに努 め、より効率的に事業を実施す ることとした。	順調	モラル・マナーアップ推進の ため、広報活動などを行い、条 例や基本計画の認知度を向上さ せる。
III-2-(1)- ② 地域にお ける伝 統文 化の発 掘・継 承	27	⑪	⑪	文化財保存補助	文 化 企 画 課	伝統文化の継承者や保 存団体の活動を育成・支 援し、市内の伝統文化を 発掘し、次世代に継承し ていく。	指定無形民俗文化財 保存支援団体数	16団体 (H26年 度)	目標 17 団 体	17 団 体	17 団 体	17団体 (毎年度)	継続	1,082	1,127	維持	11,050	課 長 0.20 人	係 長 0.50 人	職 員 0.50 人	順調	優先順位をつけながら、文化 財の保存・活用に努める。	順調	市内の指定文化財について、 その保存・継承と普及・啓発を 支援するため、相談体制の維持 と活動に関する補助金を交付し ている。 引き続き、優先順位をつけな がら文化財の保存・活用に努め る。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）					
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数				
Ⅲ-2-(2)- ① 発信力の 高い文化 芸術の振 興	28	④	④ ⑪	芸術文化活性化事 業	文化 企画 課	<p>【劇場・自主事業】 エンターテインメント から芸術性の高い作品ま で舞台芸術全般を網羅し、 幅広い年代層をター ゲットに公演を行う。また、 北九州芸術劇場オリジ ナルの演劇作品等を制 作し、公演を実施。</p> <p>【響ホール・自主事業】 室内楽専用ホールの特 性を生かした質の高いコ ンサートや響ホールを拠 点として地元演奏家を積 極的に育てるコンサートを 行う。また、響ホール からの発信を意識した、 オリジナリティのある演 奏会を実施。</p>	北九州芸術劇場・自 主事業入場率	95% (H21年 度)	目標 80 %	実績 88 %	達成率 110.0 %	87 %	87 %	87 %	87% (R5年度)	継続	108,568	107,668	維持	3,550	課長 0.05 人	係長 0.17 人	職員 0.17 人	順調	北九州芸術劇場や響ホールが 持つ特性を活かし、多彩で良質 な音楽・舞台芸術等を提供して いく必要がある。民間プロダク ションとの提携や全国の劇場や ホールとの連携（共同制作） 等、事業の効率化を念頭に置き ながら、効果的な事業実施に努 めていく。		
	29	④	④ ⑪	北九州国際音楽祭	文化 企画 課	<p>地域の音楽文化の向上 を図ることを目的に、ク ラシックコンサートを中 心とした音楽祭に助成を 行うもの。本音楽祭は、 市制25周年を記念して始 まり、令和2年度で33回 を数え、本市の秋を彩る 催し物として定着してい る。</p>	北九州市国際音楽祭 の満足度	83% (H21年 度)	目標 85 %	実績 99 %	達成率 116.5 %	85 %	85 %	85 %	85% (R2年度)	継続	40,000	90,000	増額	1,625	課長 0.05 人	係長 0.06 人	職員 0.06 人	順調	東アジア文化都市2020北九州 を記念して、海外オーケストラ にウィーン・フィルハーモニー 管弦楽団を招聘することで、優 れたクラシック音楽を提供し、 本市の音楽文化の振興を図る。		今後とも発信力の高い、まち の魅力づくりにつながる事業の 実施を目指し、事業内容を検討 し、効率性や収支の観点も加え ながら、事業規模を維持してい く。 また、映像製作誘致強化関連 事業については、引き続き好調 な海外作品の誘致に積極的に取 り組み、松永文庫企画事業で は、引き続き話題性の高い企画 展を実施し、来場者数の増加を 目指す。
	30	⑧	⑧ ⑪	映像製作誘致強化 関連事業	文化 企画 課	<p>映画・テレビドラマ等 のロケ地誘致や撮影支援 を積極的に行い、本市の 知名度と都市イメージの 向上を図る。 また、活動成果の市民 との共有や、「映画の街 ・北九州」という都市 ブランドの発信により、 街のにぎわいの創出や市 民交流等のまちづくりにつ なげる。</p>	地域経済への貢献 （直接経済効果）	100,000 千円 (H21年 度)	目標 500,000 千円	実績 187,088 千円	達成率 37.4 %	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円 (R1年度以 降毎年度)	継続	46,573	42,224	減額	47,100	課長 0.40 人	係長 2.00 人	職員 3.00 人	順調	海外作品の誘致が好調なこと から、引き続きアジアを中心と する海外作品の誘致積極的に取 り組む。		
	31	⑧	⑧ ⑪	松永文庫企画事業	文化 企画 課	<p>映画・芸能資料館「松 永文庫」における企画展 示・イベント等の積極的 な開催を通じて、映画文 化の振興、「映画の街・ 北九州」の情報発信に取 り組む。</p>	年間来館者数	89,317人 (H26年度)	目標 10万人	実績 7.8万人	達成率 78.0 %	10万人	10万人	10万人	10万人 (毎年度)	継続	9,600	9,600	維持	4,900	課長 0.10 人	係長 0.30 人	職員 0.10 人	順調	多彩なジャンルの企画展を実 施するほか、企画展と連動した イベントを実施するなど、「映 画の街・北九州」を幅広い層に 発信する。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）				
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位					人数			
Ⅲ-2-(2)- ② 市民の文化芸術活動の促進	32	④	⑪	芸術文化育成負担金・補助金	文化企画課	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	各種文化事業の実施 ※中期目標改訂	16事業 (H23年度)	目標 16 事業	実績 16 事業	達成率 100.0 %	15 事業	16 事業	16 事業 (R2年度)	継続	35,350	42,850	増額	5,825	課長 0.05 人	係長 0.30 人	職員 0.30 人	順調	東アジア文化都市2020北九州の実施にあたり、市内全体で開催機運を盛り上げるため、市民団体等が企画・実施する文化事業の一部を拡充する。 【中期目標の変更内容】 令和2年度は、隔年で助成している事業があるため、15事業から16事業に変更した。	順調	助成制度は、市民レベルでの活動を支えるものであり、市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、今後も継続して実施する。
	33	④	⑪	北九州市文化振興基金	文化企画課	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金運用果実により、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行う。	北九州市文化振興基金奨励事業の補助件数	27件 (H21年度)	目標 25 件	実績 15 件	達成率 60.0 %	25 件	25 件	25 件 (毎年度)	継続	11,681	9,811	減額	3,825	課長 0.05 人	係長 0.10 人	職員 0.30 人	やや遅れ	文化芸術に関する市民の自主的な活動をさらに活発化し、その内容がレベルアップするような効果的な支援を行っていく。またここ数年は運用益が大幅に減り、基金残高が減少している。ふるさと納税の運用の見直しについての総務省通知に基づき、寄附金（北九州かるるファンド）事業の見直しを行う。	順調	
Ⅲ-2-(2)- ③ 市民が文化芸術に接する機会の拡大	34	④	④	美術館企画展充実事業	美術館普及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数	245,420人 (H26年度)	目標 230,000 人	実績 198,164 人	達成率 86.2 %	230,000 人	240,000 人	240,000人 (R2年度)	継続	112,007	111,267	維持	36,750	課長 0.25 人	係長 0.65 人	職員 3.65 人	順調	企画展・コレクション展を継続して実施する。分館については、民間が主催する魅力ある展覧会を誘致し、展覧会数は維持すると同時に予算縮減を図る。	順調	美術館については、コレクション展も含め、より積極的な企画を実施することで集客の増加につなげていく。 また、博物館については、文化庁補助事業「東田地区ミュージアムパーク創造事業（5か年計画）」の中核館として、様々な関連イベントを企画・実施することにより集客増を図り、令和元年7月には入館者数累計700万人を達成した。 このような好機を活かし、館独自の取り組みだけでなく、東田地区の連携事業にも積極的に取り組んでいく。
	35	④	④	博物館企画展・特別展充実事業	自然・史博物館普及課	企画展・特別展は、特定のテーマを設けて自然史や歴史に関する展示を行うことによって、市民が楽しく学べる場を提供し、本市の学術文化の発展を図るもの。	博物館総入館者数	369,711人 (H24年度)	目標 450,000 人	実績 484,016 人	達成率 107.6 %	450,000 人	450,000 人	450,000人 (毎年度)	継続	49,922	60,000	増額	74,600	課長 1.40 人	係長 1.80 人	職員 5.40 人	順調	平成29年12月に近隣の大規模集客施設が撤退した一方で、平成30年7月に文化庁補助事業として採択された「東田地区ミュージアムパーク創造事業（5か年計画）」の中核館として、様々な関連イベントを企画・実施することにより集客増を図り、令和元年7月には入館者数累計700万人を達成した。 このような好機を活かし、館独自の取り組みだけでなく、東田地区の連携事業にも積極的に取り組んでいく。	順調	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 番号	SDGs サブ 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）						
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位					人数					
Ⅲ-2-(2)- ④ 文化芸術 の担い手 の育成	36	④	④	美術鑑賞事業 「ミュージアム・ ツアー」	美術館普 及課	市内の小学3年生を対 象に、美術作品の鑑賞他 体験型のプログラムを作 成し、子どもたちに体験 してもらうことでシビッ クプライドの醸成をはか る。	参加校の割合	目標	100 %	100 %	100 %	100% (毎年度)	継続	33,199	29,879	減額	25,650	課 長	0.10 人	順調	自然史・歴史博物館と連携し たプログラム（ミュージアム パーク・ツアー）を用意し、希 望する学校に対して美術館と博 物館の両方を観覧できるように する。	順調	次世代の担い手の育成は非常 に重要な課題であり、シビッ クプライドの醸成という観点か ら、子どもたちや若者が文化・ 芸術に接する機会を拡大して いく必要がある。今後も、 教育普及活動（アウトリーチ） やホール等の文化施設におけ る体験活動等、子どもたちの文 化・芸術に接する機会の充実に 向け、事業内容を実施してい きたい。					
							実績	99 %									係 長	0.20 人										
								達成率	99.0 %									職 員	3.00 人									
								目標	3,000 人	3,000 人	3,000 人	3,000人 (R2年度)	継続	6,840	7,206	増額	8,725	課 長	0.15 人									
								実績	5,192 人									係 長	0.40 人									
								達成率	173.1 %									職 員	0.40 人									
37	④	④	⑪	優れた文化・芸術 との“出会い”創 造事業	文化企 画課	将来の文化・芸術の担 い手を育成し、本市の文 化振興をさらに進めると ともに、シビックプライ ドの醸成につなげていく ため、若者や子どもたち を中心に優れた文化・芸 術との“出会い”の場・ 機会を創造していく。	教育普及事業への参 加者数の増加	目標	3,000 人	3,000 人	3,000 人	3,000人 (R2年度)	継続	6,840	7,206	増額	8,725	課 長	0.15 人	大変 順調	放課後児童クラブや子ども食 堂等、学校外における優れた文 化・芸術との“出会い”場の 充実を図っていく。	大変 順調						
								実績	5,192 人																係 長	0.40 人		
								達成率	173.1 %																		職 員	0.40 人
								目標	5 人	5 人	5 人	5人 (R2年度)	継続	39,000	38,000	維持	8,150	課 長	0.10 人				順調	フェロシッププログラムに ついては、引き続き一定レベ ルの受講生の確保を図りつつ、充 実したプログラムを実施する。 また、事業については内容の 見直しや経費削減等を更に進め つつ、市民対象の公開講座等 による地域還元や、他事業との連 携を通じて、市民へのCCA北九州 のより一層の浸透に努める。				
実績	5 人																											
達成率	100.0 %																	係 長	0.70 人									
目標	1,800 人	1,800 人	1,800 人	1,800人 (R2年度)	継続	39,000	38,000	維持	8,150	課 長	0.10 人	順調	フェロシッププログラムに ついては、引き続き一定レベ ルの受講生の確保を図りつつ、充 実したプログラムを実施する。 また、事業については内容の 見直しや経費削減等を更に進め つつ、市民対象の公開講座等 による地域還元や、他事業との連 携を通じて、市民へのCCA北九州 のより一層の浸透に努める。															
実績	1,847 人																											
達成率	102.6 %																				職 員	0.00 人						
目標	1,000 件	1,000 件	1,000 件	1,000件 (R2年度)	継続	10,802	10,731	維持	5,400	課 長	0.10 人			順調	応募地域を広げ、全国規模の 賞としてふさわしい応募数、内 容となることを目指す。また、 市内小中学校にも直接働きか け、市内からの応募数獲得に努 める。													
実績	744 件																											
達成率	74.4 %																				係 長	0.20 人						
目標	500 件	500 件	500 件	500件 (R2年度)	継続	12,277	11,630	減額	4,550	課 長	0.20 人	順調	応募者が作家として書き続け ていくことのできる力量を持 った書き手に絞り込まれ、より文 学賞らしい形で落ち着きつつあ る。受賞者のその後の活躍も紹 介するなど、広報の充実に努め る。															
実績	392 件																											
達成率	78.4 %																					係 長	0.00 人					
目標	500 件	500 件	500 件	500件 (R2年度)	継続	12,277	11,630	減額	4,550	課 長	0.20 人			順調	応募者が作家として書き続け ていくことのできる力量を持 った書き手に絞り込まれ、より文 学賞らしい形で落ち着きつつあ る。受賞者のその後の活躍も紹 介するなど、広報の充実に努め る。													
実績	392 件																											
達成率	78.4 %																						職 員	0.30 人				
目標	500 件	500 件	500 件	500件 (R2年度)	継続	12,277	11,630	減額	4,550	課 長	0.20 人	順調	応募者が作家として書き続け ていくことのできる力量を持 った書き手に絞り込まれ、より文 学賞らしい形で落ち着きつつあ る。受賞者のその後の活躍も紹 介するなど、広報の充実に努め る。															
実績	392 件																											
達成率	78.4 %																							職 員	0.30 人			

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
	41	④	④ ⑪	「合唱の街づくり」推進事業	文化 企画 課	市民の歌声があふれる「合唱の街・北九州」の実現に向けて、子どもたちからシニア世代まで幅広い年代の多くの市民が、合唱する側や聴いて楽しむ側として参加するまちづくりを進めていく。	合唱関連事業における歌い手としての参加者 ※中期目標改訂	682人 (H27年 度)	目標 900 人	400 人	250 人	250人 (R2年度)	縮小	5,144	1,200	減額	7,150	課長 0.10 人	係長 0.30 人	職員 0.40 人	順調	楽器を必要としない合唱は、誰もが参加しやすく、多世代と一緒に歌うことで世代間交流の促進という効果も期待される。今後も、市民が合唱に親しむことのできる機会の提供を図る。 【中期目標の変更内容】 事業内容の変更（縮小）に伴い、歌い手としての参加者数を400人(R1年度)から250人(R2年度)に変更した。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H30年度 事業評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)		
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
Ⅲ-2-(2)- ⑤ 文化芸術によるまちづくり	42	⑪	④ ⑧ ⑪	創造都市推進事業	東アジア文化都市推進室	文化芸術の力を活用した「創造都市・北九州」の実現に向け、東アジア文化都市2020北九州を開催する。同時に2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの推進等に取り組む。	2020年東京大会に向けた文化プログラムの認証件数（累計）	目標	20 件	20 件	20 件	20件 (R2年度)	拡大	4,000	435,000	その他	61,100	課長	1.40 人	大変 順調	2020年の東京大会に向け、文化プログラムの認証件数の増加を目指す。 令和2年度は、東アジア文化都市北九州2020の開催に向け、プレ・オープニング事業の実施により、機運醸成をはかっている。	順調	各事業を通じて、国内外へ「創造都市・北九州」としての都市ブランドを発信し、市民のシビック・プライドの醸成につなげるため、今後とも発信力の高い、まちの魅力づくりにつながる事業の実施を目指し、事業内容を検討していく。効率性や収支の観点も加えながら、事業規模を維持していく。	
								実績	27 件															
								達成率	135.0 %															
						文化芸術を「身近に感じたことがある」と思っている市民の割合 ※指標追加	目標			51.1 %	51.1% (R2年度)	継続	66,379	65,023	維持	44,000	係長	3.00 人	順調	【指標追加の理由】 東アジア文化都市北九州2020を通じて創造都市の実現を図っていくため、文化芸術を身近に感じたことがある市民の割合を指標に設定した。	順調	来年度も、企画展関連イベントを行う等工夫を行うと同時に、漫画ミュージアムの認知度を上げることで目標達成を目指す。		
実績																								
達成率																								
						北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	漫画ミュージアム年間入場者数	目標	100,000 人	100,000 人	100,000 人	10万人 (毎年度)	継続	46,573	42,224	減額	47,100	課長	1.00 人	順調	海外作品の誘致が好調なことから、引き続きアジアを中心とする海外作品の誘致積極的に取り組む。	順調	海外作品の誘致が好調なことから、引き続きアジアを中心とする海外作品の誘致積極的に取り組む。	
実績	116,930 人																							
達成率	116.9 %																							
						映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	目標	500,000 千円	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円 (R1年度以降毎年度)	継続	46,573	42,224	減額	47,100	係長	2.00 人	順調	海外作品の誘致が好調なことから、引き続きアジアを中心とする海外作品の誘致積極的に取り組む。	順調	海外作品の誘致が好調なことから、引き続きアジアを中心とする海外作品の誘致積極的に取り組む。	
実績	187,088 千円																							
達成率	37.4 %																							
						北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	目標	80.0 %	85.0 %	85.0 %	85.0% (R1年度以降毎年度)	継続	46,573	42,224	減額	47,100	職員	3.00 人	順調	海外作品の誘致が好調なことから、引き続きアジアを中心とする海外作品の誘致積極的に取り組む。	順調	海外作品の誘致が好調なことから、引き続きアジアを中心とする海外作品の誘致積極的に取り組む。		
実績	87.9 %																							
達成率	109.9 %																							

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 目標 番号	SDGs サブ 目標 番号	基本計画の施策を構成する 主要事業 取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職 位					人数
45	④	④	⑪	北九州文学サロン 管理運営事業	文化 企画 課	女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子などのPR・顕彰に取り組むとともに、「北九州文学サロン」を拠点として、点在する文学的素材やさまざまな文化資源・文化的取組みをつなげる仕組みづくりを行う。	「北九州文学サロン」の来館者数 ※中期目標改訂	目標	13,000 人	14,000 人	14,000 人	14,000 人 (毎年度)	継続	11,000	11,000	維持	6,400	課長	0.10 人	大変 順調	音楽や絵画など、様々な文化芸術と文学をつなぎ、魅力ある企画・取組みの実施、情報発信が必要である。引き続き、地元商店街や大学生と連携し、様々な人が気軽に文学に接する取組みを進めている。 【中期目標の変更内容】 39,000人(H29~R1年度)としていたが、開館から3年が経過したため、毎年度の目標に変更した。		
46	⑧	⑧	⑪	松永文庫企画事業	文化 企画 課	映画・芸能資料館「松永文庫」における企画展示・イベント等の積極的な開催を通じて、映画文化の振興、「映画の街・北九州」の情報発信に取り組む。	年間来館者数	目標	10万 人	10万 人	10万 人	10万人 (毎年度)	継続	9,600	9,600	維持	4,900	課長	0.10 人	順調	多彩なジャンルの企画展を実施するほか、企画展と連動したイベントを実施するなど、「映画の街・北九州」を幅広い層に発信する。		
47	④	④	④	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本 清張 記念 館事 務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。 さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	目標	前年度 (47,205 人) 比増	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年度)	継続	14,855	14,342	維持	23,250	課長	0.50 人	順調	魅力ある企画展・講演会を開催し、市民をはじめ多くの人に清張の作品や人となりに触れる機会を提供することで集客を図るとともに、「文学の街・北九州」を市内外に発信する。		
							企画展入場者の満足度	目標	90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)					係長	1.00 人					
								目標	90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)					職員	1.00 人					
48	⑪	④	⑧	⑪	北九州市東田地区 ミュージアムパーク 創造事業 (旧・ 文化関連施設多言 語化推進事業)	文化 企画 課	八幡・東田地区において、いのちのたび博物館を中核として、周辺施設が連携し、地域の活性化やインバウンドの取り込みにつなげるため、面的・一体的に事業を実施するもの。また、2020年に文化クラスターのシンポイベントとして「ART for SDGs」を開催する。	東田地区における文化関連施設3館の来館者数の増加率 (対H29年度比)	目標	5 % 増	10 % 増	10%増 (R2年度)	継続	6,000	26,800	増額	10,150	課長	0.10 人	順調	大規模テーマパークの閉園の影響で来館者が減少する中、東アジア文化都市2020北九州のコア事業「ART for SDGs」が東田大通り公園を中心に開催されるのに合わせ、東田地区の文化施設が連携し、企画展の開催や回遊促進に取り組むことで、来場者の増加を目指す。		
								目標	10 % 増			30%増 (R2年度)					係長	0.90 人					
								目標	10 % 増			30%増 (R2年度)					職員	0.00 人					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位				
Ⅲ-2-(3)- ① 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	49	③	③ ④	市民体育祭	スポーツ振興課	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催。	市民体育祭選手参加者数	30,367人 (H26年度)	目標 28,000人 実績 29,973人 達成率 107.0%	21,000人 21,000人	21,000人 (R1年度以降毎年度)	継続	6,354	5,245	減額	4,650	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.20人	順調	市民体育祭総合開会式のあり方を見直す等、より効率的な運営を図る。			
	50	③	③ ④	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	生涯スポーツの普及・振興のため、各区においてスポーツ教室、ニュースポーツ体験会などを開催。	各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数	12,371人 (H26年度)	目標 12,600人 実績 18,163人 達成率 144.2%	15,000人 15,000人	15,000人 (R1年度以降毎年度)	継続	19,612	18,066	減額	990	課長 0.01人 係長 0.05人 職員 0.05人	大変順調	各区におけるスポーツ教室、体験会などのPR、開催方法の工夫を行い、さらなる参加者の増加を図る。			
	51	③	③ ④	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	スポーツ振興課	地域住民の自主的な運営により、身近な地域で様々なスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,800人 (H22年度)	目標 3,300人 実績 1,988人 達成率 60.2%	3,600人 4,000人	R2年度までに4,000人	継続	3,182	3,022	維持	2,325	課長 0.05人 係長 0.10人 職員 0.10人	やや遅れ	市内の9つのクラブで構成する北九州市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営を見直すとともに、各クラブの自主的な活動と運営を支援する。			
	52	③	③ ④ ⑪	夢・スポーツ振興事業	スポーツ振興課	トップアスリート等の活用により、オリンピック選手など国際、全国大会で活躍する、次世代を担うトップアスリートを育成するとともに、スポーツに対する意欲を醸成する。	選手強化事業参加者数 教室・強化講習会等の実施 ※中期目標改定	210人 (H26年度) 5種目 (H26年度)	目標 500人 実績 2,329人 達成率 465.8%	1,000人 1,000人 11種目	1,000人 (毎年度) 11種目以上 (毎年度)	拡大	9,000	9,000	維持	6,305	課長 0.02人 係長 0.24人 職員 0.49人	大変順調	ジュニア世代がトップアスリート等から直接指導を受ける講習会等を通して、国際・全国大会で活躍する選手の育成に取り組む。 【中期目標の変更内容】 教室・強化講習会等について、実績に基づき、毎年度5種目以上から11種目以上に変更した。	順調	引き続き「誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり」を推進するため、既存事業を効率的に運営・実施していくとともに、地域スポーツ振興の中核をなす総合型地域スポーツクラブの育成・支援を継続する。 また、北九州マラソンの継続開催により、市民のスポーツ・健康に対する意識の更なる向上を目指すとともに、本市の魅力在全国へ発信する。	
53	③	③ ④ ⑪	北九州マラソン開催事業	スポーツ振興課	・コース：北九州市役所前～東田地区～戸畑駅前～東港～門司港～北九州国際会議場前 ・種目及び参加人数 マラソン：11,000名、ベアリレーマラソン：150組300名、ファンラン（3km又は5km）：1,000名	マラソン大会開催による経済波及効果	10.5億円 (H25年度)	目標 11.5億円 実績 — 達成率 —	単年度目標設定なし 単年度目標設定なし	11.5億円 (R4年度までに)							課長 1.50人					
						インターネットでのマラソン大会全国評価ランキング（参加者7,000人以上の大会を対象）	9位 (H28年度)	目標 1位 実績 9位 達成率 —	1位 1位 1位	1位 (R2年度)	継続	92,157	82,543	減額	59,750	係長 2.00人	順調	より効率的で、安全・快適な大会となるように努めるとともに、参加者（「する人」、「見る人」、「支える人」）それぞれにとって、より満足度の高い大会となるよう取り組みを行う。				
						ボランティアリーダー登録者数	15人 (H30年度)	目標 — 実績 15人 達成率 —	20人 30人	50人 (R4年度)						職員 3.00人						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
Ⅲ-2-(3)- ② スポーツ を通した にぎわい づくり	54	③	④ ⑪	国際大会・全国大会等スポーツ開催	スポーツ振興課	市内での国際大会等の開催により、「みる」スポーツの機会の拡大を図り、多くの市民のスポーツへの関心の向上及び個々の競技力の向上等につなげる。	国際・全国大会等の開催数	29回 (H26年度)	目標 28回 実績 40回 達成率 142.9%	29回	30回 (R2年度)	継続	3,000	4,500	増額	2,615	課長 0.01人 係長 0.10人 職員 0.20人	大変 順調	今後も大会の誘致を図るとともに、スポーツ大会開催補助の効率的な執行に努める。 また、歴史ある門司港レトロマラソンを継続的に実施していく。	順調	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指すとともに、ミクニワールドスタジアム北九州の活用や広報活動の強化に取り組む、平均入場者数やスポーツ観戦率の増加に取り組む。 また、プロスポーツの観戦招待や国際大会・全国大会等の開催、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模国際大会のキャンプ地誘致等により市民全体の機運を高め、スポーツの振興はもとより、まちのにぎわいづくりを図る。	
	55	③	④ ⑪	ギラヴァンツ北九州支援事業	スポーツ振興課	本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助。	ギラヴァンツ北九州の市民認知度	87% (H26年度)	目標 90% 実績 86.3% 達成率 95.9%	90%	90% (毎年度)	継続	40,000	35,000	減額	3,075	課長 0.05人 係長 0.10人 職員 0.20人	順調	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指す。			
	56	③	④ ⑪	ホームタウン推進事業	スポーツ振興課	本市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「堺ブレイザーズ」「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施。	スポーツ観戦率	23% (H26年度)	目標 40% 実績 25% 達成率 62.5%	40%	40% (R2年度)	継続	63,450	68,450	増額	6,575	課長 0.05人 係長 0.15人 職員 0.60人	順調	市民観戦事業や、体験教室の開催等を継続し、市民が競技レベルの高いプロスポーツなどを「みる」機会の充実を図るとともに、スポーツに親しむきっかけづくりに取り組む。			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）			
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位					人数		
57	③	④	④	大規模国際スポーツ大会等誘致関係事業	国際スポーツ大会推進室	生涯スポーツの振興やまちの賑わい創りに繋がる大規模国際スポーツ大会の試合会場、及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を本市に誘致すること、並びに誘致前後のスポーツ交流や文化交流等へと繋げることを目的として、誘致プロモーションの展開や官民一体となった「誘致委員会」による積極的な活動を行う。	ラグビーワールドカップ2019及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるキャンプ地誘致数	—	3 競技				1ヶ国又は1競技以上 (R2年度)	継続	171,700	179,500	維持	64,000	課長 1.00 人	係長 3.00 人	職員 3.00 人	大変 順調	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会本番の年として聖火リレーや事前キャンプ、機運醸成に向けて取り組む。 国際スポーツ大会等の誘致プロモーションについても引き続き積極的に取り組んでいく。 【中期目標の変更内容】 国際スポーツ大会等の開催について、5年ごとの目標を毎年度に変更した。		
58	③	⑦	⑧	⑩	北九州スタジアム維持管理事業	スポーツ振興課	北九州スタジアムは、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、「Jリーグ」やラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンド・ゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちににぎわいを生み出すイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できる施設である。 施設の適切な維持管理・運営を実施することで、「みる」スポーツの機会提供の充実を図り、スポーツを通じたまちのにぎわいを生み出す。	「みる」スポーツの機会提供の充実（グラウンドの年間利用日数）	—	100 日	100 日	100 日	100日 (毎年度)	継続	103,303	104,251	維持	2,750	課長 0.05 人	係長 0.09 人	職員 0.17 人	順調	施設の適切な維持管理・運営やイベント誘致に取り組み、「みる」スポーツの機会の充実を図り、スポーツを通じたまちのにぎわいを生み出す。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）					
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位					人数				
Ⅲ-3-(1)- ① 市民主体 の地域づ くりの促 進	59	⑪	⑪	地域総括補助金	地域振興課	各地域団体が連携・協力を中心に地域が一体となった地域づくりを促進するため、これまで市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	130団体 (H26年度)	目標 134 団体	実績 133 団体	達成率 99.3 %	134 団体	134 団体	134 団体	137団体 (R5年度)	継続	317,408	321,292	維持	3,825	課長 0.05 人	係長 0.10 人	職員 0.30 人	順調	住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や各種地域団体に対する地域総括補助金の交付を行う。		
	60	⑪	⑪	住民主体の地域づくりの促進	地域振興課	まちづくり協議会を中心としたネットワークを構築し、まちづくり協議会が相互に情報を共有し交流できる場を設けるなど、住民主体の地域づくりを進める。	地域カルテフォローアップ事業を実施したまちづくり協議会の数 ※指標廃止	—	目標 5 団体	実績 4 団体	達成率 80.0 %	1 団体			住民主体の新たな地域づくりが行われている状態	継続	4,897	3,731	減額	3,575	課長 0.05 人	係長 0.15 人	職員 0.20 人	順調	地域カルテ事業については、他局が所管する「福祉」や「防災」の観点での地域づくり事業と類似しており、地域の負担も考慮し平成30年度で終了、地域カルテフォローアップ事業についても令和元年度で終了する。まちづくり専門家派遣事業は継続し、まちづくり協議会等の地域団体に地域の課題解決に主体的に取り組んで頂くため、まちづくり専門家派遣制度の活用など、地域の実情やニーズに応じた支援を行う。また次世代の地域活動の担い手を発掘するイベント（シンポジウム等）を実施する。 【指標廃止の理由】 地域カルテフォローアップ事業が令和元年度で終了するため。	引き続き、地域が一体となった市民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や、地域で様々な取り組みを行う各種地域団体等に対し、「地域総括補助金」の交付や、各種支援事業などの地域のニーズに応じた施策を展開する。	
Ⅲ-3-(1)- ② 地域コ ミュニ ティ施 設の活 用・運 営	61	⑪	⑪	市民センターの維持管理	地域振興課	市民センターの管理運営を円滑・適正に行うため、公募により多様な人材を市民センター館長として採用し、地域の活動を担うまちづくり協議会への管理委託などを行う。 また、市民センターを拠点とした地域づくりを推進するため、未整備校区に市民（サブ）センターを整備し、老朽化対策やバリアフリー化を図り計画的な改修を行う。	市民センター1館当たりの利用者数	41千人 (H27年度)	目標 42 千人	実績 40 千人	達成率 95.2 %	42 千人	42 千人	42 千人	42千人 (毎年度)	継続	2,253,009	2,620,222	増額	46,250	課長 1.00 人	係長 1.00 人	職員 3.30 人	順調	市民センターを拠点とした地域づくりを促進するため、老朽化対策やバリアフリー化等ハード面を整備するとともに、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修や、タイムリーな情報発信等ソフト面の充実にも努め、利用者の増加を図る。	市民センター未整備校区に市民（サブ）センターを整備し、老朽化対策やバリアフリー化を行うなど、ハード面の整備を進めている。また、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修やタイムリーな情報発信等のソフト面の充実にも努め、引き続き市民センターを拠点とした地域づくりを推進する。	
							市民センターにおけるコミュニティ活動の参加人数（延べ）	2,084千人 (H27年度)	目標 2,200 千人	実績 2,103 千人	達成率 95.6 %	2,200 千人	2,200 千人	2,200 千人	2,200千人 (毎年度)												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
Ⅲ-3-(1)- ③ 自治会・ 町内会へ の加入促 進	62	⑪	⑪	自治会・町内会活性化の促進	地域振興課	自治会と連携しながら、加入率向上や組織・活動の見直し及び人材育成など新たな課題への対応につながる様々な事業に取り組み、自治会・町内会の活性化を図る。	地域づくり活動へ肯定的な考えの市民の割合	目標	85 %	85 %	85 %	85% （毎年度）	継続	27,717	28,464	維持	4,095	課長	0.03	人	順調	ポータルサイトを活用した自治会活動の重要性や活動内容のPR強化及び各自治会における加入促進・脱会防止の事例等について情報共有を図る。 また、マンション管理士による自治会役員研修会の開催など、マンション棟の共同住宅の自治会加入について、自治会と連携して働きかけを強化する。	順調	自治会・町内会を取り巻く課題を解決し活性化を促進するために、マンション等の管理会社等の関係者に積極的に働きかけていくほか、引き続き地域コミュニティの重要性や自治会の必要性について幅広く理解を求めることに力を入れていく。 また、地域でリーダーシップを発揮する人材や地域活動の担い手育成支援を積極的に行い、自治会・町内会の加入促進や活性化を図っていく。
								実績	82.3 %									達成率	96.8 %					
Ⅲ-3-(2)- ① NPO・ボラ ンティア 活動の支 援	63	④	④	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	目標	105 法人	120 法人	135 法人	135法人 （R2年度）	継続	20,750	20,176	維持	19,725	課長	0.15	人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等を引き続き開催するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。 また、NPOへの資金的な支援を引き続き行っていく。
								実績	99 法人									達成率	94.3 %					
Ⅲ-3-(2)- ② NPO・企 業、研究 機関など との連携 の構築	64	④	④	NPO公益活動支援事業	市民活動推進課	市民活動の更なる促進を支援するため、NPO等が専門性を発揮して行う活動に対し、事業費の一部を補助する。	サポートセンター利用者数	目標	25,000 人	25,000 人	25,000 人	25,000人 （毎年度）	継続	3,212	2,712	減額	3,275	課長	0.10	人	順調	市民ニーズが複雑化、多様化する中、専門性や先駆性を発揮して地域課題の解決等に取り組むNPOに対して、引き続き資金的な支援を行い、市民活動の促進を図る。	順調	NPO体験交流会を通して市民のNPO活動への共感醸成を促すとともに、市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など異なる活動主体とNPOとの交流の機会を提供し、団体間のネットワークの強化、自主的な協働を支援する。
								実績	28,683 人									達成率	114.7 %					
Ⅲ-3-(2)- ② NPO・企 業、研究 機関など との連携 の構築	65	⑪	⑪	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	目標	5 件	5 件	5 件	5件 （R2年度）	継続	1,323	1,570	増額	2,470	課長	0.03	人	順調	NPO体験交流会を通して市民のNPO活動への共感醸成を促すとともに、市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など異なる活動主体とNPOとの交流の機会を提供し、団体間のネットワークの強化、自主的な協働を支援する。	順調	多様な主体による協働を推進するため、NPO、企業等との交流会を引き続き実施し、団体間の協働を支援する。
								実績	5 件									達成率	100.0 %					
Ⅲ-3-(2)- ② NPO・企 業、研究 機関など との連携 の構築	65	⑪	⑪	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	目標	5 件	5 件	5 件	5件 （R2年度）	継続	1,323	1,570	増額	2,470	課長	0.03	人	順調	NPO体験交流会を通して市民のNPO活動への共感醸成を促すとともに、市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など異なる活動主体とNPOとの交流の機会を提供し、団体間のネットワークの強化、自主的な協働を支援する。	順調	多様な主体による協働を推進するため、NPO、企業等との交流会を引き続き実施し、団体間の協働を支援する。
								実績	5 件									達成率	100.0 %					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
Ⅲ-3-(3)- ① 市民参画 と協働の ための仕 組みづく り	66	④	④ ①⑦	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	目標	1,500 人	1,750 人	2,000 人	2,000人 (R2年度)	継続	1,491	1,291	減額	6,400	課長	0.10 人	順調	協働を促進するため、協働意識向上のための研修、NPOの人材育成や運営力向上に資するセミナーの充実に努める。	順調	協働への理解を深めるセミナーやNPOと様々な団体の交流会の開催等、各団体間の自主的な協働の側面支援に引き続き取り組んでいく。
								実績	1,887 人										達成率				
67	①⑦	①⑦	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	目標	5 件	5 件	5 件	5件 (R2年度)	継続	1,323	1,570	増額	2,470	課長	0.03 人	順調	NPO体験交流会を通して市民のNPO活動への共感醸成を促すとともに、市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など異なる活動主体とNPOとの交流の機会を提供し、団体間のネットワークの強化、自主的な協働を支援する。	順調		
							実績	5 件										達成率					100.0 %
Ⅲ-3-(3)- ② 市民との協働を推進できる市役所づくり	68	④	④ ①⑦	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	目標	105 法人	120 法人	135 法人	135法人 (R2年度)	継続	20,750	20,176	維持	19,725	課長	0.15 人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等を引き続き開催するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実に努める。	順調	市民との協働を推進するため、協働意識向上のための研修、セミナー等の充実、NPO・市民活動に関する情報提供に取り組む。
								実績	99 法人										達成率				
69	④	④ ①⑦	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	目標	1,500 人	1,750 人	2,000 人	2,000人 (R2年度)	継続	1,491	1,291	減額	6,400	課長	0.10 人	順調	協働を促進するため、協働意識向上のための研修、NPOの人材育成や運営力向上に資するセミナーの充実に努める。	順調		
							実績	1,887 人										達成率					125.8 %
						収入増加団体数（累計）	目標	12 団体	14 団体	16 団体	16団体 (R2年度)						課長	0.30 人					
							実績	13 団体										達成率					108.3 %

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
IV-4-(1)- ② 偉人・先 人の顕彰	70	④	④	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	入館者数 ※中期目標改訂	10,741人 (H23年度)	目標 22,000人 実績 21,711人 達成率 98.7%	7,500人	30,000人	30,000人 (R2年度)	拡大	17,132	26,821	増額	30,950	課長 0.30人 係長 0.50人 職員 3.00人	順調	リニューアルした常設展示やより多くの市民が興味を持つ企画展の開催などにより、若年層など入館者の増加を図り、市民と文学との接点を提供していく。 【中期目標の変更内容】 展示リニューアルにより、入館者数の増加を図るため、7,500人(R1年度)から30,000人(R2年度)に変更した。	順調			
	71	④	④	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (H22年度)	目標 前年度 (47,205人) 比増 実績 42,502人 達成率 90.0%	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年度)	継続	14,855	14,351	維持	23,250	課長 0.50人 係長 1.00人 職員 1.00人	順調	魅力ある企画展・講演会を開催し、市民をはじめより多くの人に清張の作品や人となりに触れる機会を提供することで集客を図るとともに、「文学の街・北九州」を市内外に発信する。	順調	文学館については、展示や企画展などの充実、周辺施設との連携などにより、来館者やリピーターの増加を図り、市民が文学に接する機会の提供に努め、入館者数の増加につなげていく。 また、松本清張記念館では、市民をはじめ多くの清張ファンの来館につながるよう魅力ある企画展や講演会を実施していく。		
IV-4-(2)- ③ 都市イ メージの 向上	72	⑧	⑩	映像製作誘致強化 関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献 (直接経済効果)	100,000千円 (H21年度)	目標 500,000千円 実績 187,088千円 達成率 37.4%	150,000千円	150,000千円	150,000千円 (R1年度以 降毎年度)	継続	46,573	42,224	減額	47,100	課長 0.40人 係長 2.00人 職員 3.00人	順調	海外作品の誘致が好調なこと から、引き続きアジアを中心と する海外作品の誘致積極的 に取り組む。	順調	引き続き、好調な海外作品の誘致に積極的に取り組み、「映画の街・北九州」という都市ブランドを国内外に広く発信していく。		
						北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	59.8% (H25年度)	目標 80.0% 実績 87.9% 達成率 109.9%	85.0%	85.0%	85.0% (R1年度 以降毎年度)													